

神奈川県立女性相談所及び女性保護施設に ダイニングセット・ドレッサー・ベッドを寄贈

神奈川県遊技場協同組合(理事長：伊坂重憲)と神奈川県福祉事業協会(会長：伊坂重憲)は、神奈川県立女性相談所及び女性保護施設に対し、入所者が一日も早く自立して、社会復帰するための環境づくりに貢献するため、ダイニングセット等の家具(約450万円相当)を寄贈しました。

1. 実施日	平成26年5月16日(金)
2. 場所	神奈川県庁 第二応接室
3. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会
4. 寄贈先	神奈川県(県民局くらし県民部人権男女共同参画課)
5. 寄贈品	ダイニングセット(テーブル14台、椅子84脚) ドレッサー(42台) ベッド(畳ベッド43台、手すり付電動ベッド1台) 約450万円相当

6. 概要 神奈川県遊技場協同組合(理事長：伊坂重憲)と神奈川県福祉事業協会(会長：伊坂重憲)は、社会貢献活動の一環として、神奈川県(県民局くらし県民部人権男女共同参画課)に対し、神奈川県立女性相談所及び女性保護施設で活用する家具を寄贈しました。

神奈川県では、配偶者等からの暴力を受けた女性、職業や住宅を一時的に失った女性、家族間の問題や経済的な問題により生活の場を失った女性やその同伴児童を保護し、安全で安心な生活環境を提供するとともに、自立に向けた支援を行っております。

こうした神奈川県の取組みに強く共鳴し、この度、神奈川県が平成26年4月に施設を移転新設することに伴い、入所者がより良い環境の下で心身の回復に努めてもらうため、更なる環境整備と支援の充実に貢献したいとの思いから、寄贈するに至ったものであります。

これに対し、神奈川県知事黒岩祐治様から感謝状をいただきました。

この寄贈式の模様は、毎日新聞、東京新聞、神奈川新聞、タウンニュースでも紹介されました。

